

自然系ゾーン
ヨシ原が広く形成されており、まとまった自然地として保全していく。

利用系ゾーン
スポーツグラウンドとして、「荒川戸田橋緑地」を活用していく。

自然系ゾーン
「生物生態園」や周辺のまとまった自然地を保全していく。

利用系ゾーン
スポーツグラウンドとして、「荒川戸田橋緑地」を活用していく。

利用系ゾーン
ゴルフ場として「赤羽ゴルフ場」を活用していく。
上流側は、「板橋リバーステーション」を活用していく。

地区区分凡例	
	自然保全地
	自然利用地
	多目的地
	ゴルフ場
	利用施設（各種競技場）
	利用施設（その他）

水辺整備のタイプ凡例	
	干潟タイプ
	湿地化タイプ
	親水タイプ
	直壁護岸タイプ

新ゾーニング(案)	
	自然系ゾーン
	利用系ゾーン

図4 板橋区土地利用計画図

2.4 ブロック計画

板橋区地区は、「荒川将来像計画 1996 地区計画書」に基づき、今回の地区別計画策定にあたっては、板橋地区全体を新河岸・舟渡ブロックの1ブロックとして位置づけ、川づくりの基本方針及び土地利用計画を受けて、整備の考え方を示します。

2.4.1 現況土地利用

板橋区の荒川河川敷は、河口から 24.2km～28.7km に位置しており、その低水路幅は約 150m です。河川敷の面積は、約 99ha であり、その内訳は自然地が約 33ha、グラウンドや公園・緑地、ゴルフ場等の利用地が約 66ha となっています。

表 3 現況土地利用（平成 20 年度末）

土地利用項目	面積(ha)
自然地	31.37
干潟(自然地)	1.67
多目的地	8.41
ゴルフ場	15.80
利用施設	41.80
土砂仮置き場	0.00

* 上流戸田市区域を含む

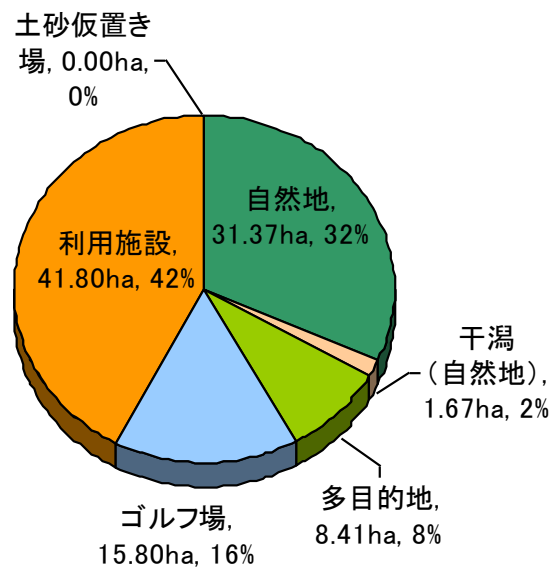


図 5 現況土地利用（平成 20 年度末）



利用施設



自然地（生物生態園）